



# 1月園だより

令和 5 年 1 月 4 日

目黒区立目黒本町保育園園長

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いたします。

2歳児クラスの子どもが庭で栽培しているブロッコリーの茎を見つけ、保育士に「見て、ブロッコリーの骨」とここにこ笑顔で見せに来ました。保育士がブロッコリーの持ち方を変えたり動かしたりするとその子どもは「マイク」や「ダンベル」にみたてて次々にイメージが浮かんでいきます。次に「これ、切ったらどうなるかな」と言う「切ってみよう」と力いっぱいやってみますが折れません。「むり」とわかり「じゃあ、シャベルで料理みたいに切ってみる。お芋のときみたいに」と言う「そうだね」と言い料理が始まりました。そこに2人の友達がきて、料理ごっこが続いていきます。茎は固く、切ることは出来ないのですが、少し削れると中から汁が出てきました。そのことに気づいた子どもが「雨が降った」とつぶやいています。「どうしてこの中に水があるんだろうね」と聞いてみると別の子どもが「お水をあげるからじゃない」と言い、もう一人の子どもも「そうか。みんながあげたお水がこの中にたまっているんだね」と言い、3人で「そうだね」とうなずきあい、納得した様子でした。

子どもは、見たもの触れたものから考え、発想を広げていきます。大事なことは知識としての正しさより、その年齢なりに子どもが自分たちの持つ知識の中で考え、答えを導き出していくことだと思います。保育士は、子どもに少しのヒントをエッセンスとして投げかけて見ることで、子どもの発想を広げるきっかけを作っていく役割があると考えています。子どもの心が動く「どうしようか」「これなんだろう」「どうしてかな」といった言葉や、環境を用意していきます。今年も子どもたちが自分の発想や思いや感じたことが尊重され、ありのままの自分で良いという安心の中で、一人一人が思いを存分に出し育っていくことを職員全員で見守っていきたいと思います。

## 行事予定

- ポニー乗馬体験 (5歳児クラス)
- 乳児お楽しみ会 (0, 1, 2歳児クラス)
- 3歳児クラス懇談会
- 4歳児クラス懇談会

中旬

身体計測  
避難訓練

全園児  
全園児

### <幼児期からのいのちの教育>

文部科学省では幼児期より「いのちの安全教育」として親子で楽しめる教材を掲載しています。

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/danjo/anzen/index.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/danjo/anzen/index.htm)



## 健康教育「プライベートゾーン」(保健室より)

12月に4、5歳児にむけて『プライベートゾーン』の内容で健康教育を実施しました。園では普段からプライベートゾーンに配慮した声かけや環境づくりを職員で意識しており、子ども自身が「からだの権利」を理解することが、自分や友達のからだを大切にしていこうと重要なこと。「自分だけが見ていい、触れていい場所」「触られていやなときはいやと言おう」ということを改めて認識することで自分のからだを守ることができます。また、幼児になると自身のからだに興味をもつことも自然なことで、自分で観察したり触れたりして見ることも多くなります。健康教育では「触るときはきれいな手で、洗うときは泡でやさしく洗おうね」と大事にするための扱い方を伝え、自分のからだを大切にしようという意識に繋げています。また、普段は遊びの延長線上でやっけてしまっているトイレの扉を開ける等の行動は実はプライベートの侵害になっていることなど、子どもたちの気づきにもつながったようで、話を聞いた後に子どもたち同士で声をかけ合っている姿がみられました。普段からの周囲の大人の言動や姿勢が子どもたちの意識をつくっていきますので、今後も子どもの権利を意識し丁寧に向き合っていきます。

## 0・1・2 歳児クラス室内あそびの様子



### 0 歳児クラス(ひよこ組)

保育士が「お茶を飲みに来てください」と歌を口ずさみながらカップにお茶を入れる真似をしていると傍にいた子が重ねカップを取りに行き保育士が隣でカップをたくさん並べ始めました。並べ終わると小さなペットボトル玩具を持って来てひとり一つのカップにお茶を入れる真似をし「どうぞ」と保育士の口元に運んでくれます。「ありがとう」とお茶を飲み「あちち。ちょっと熱いね」と言う「あちっ」と子どもも熱そうな表情をし「ふうふうふう」とカップに息を吹きかけてくれました。再び「おいしいね」と飲む真似をすると頬に手をあて「(おい)しー」と満面の笑みです。少しずつ言葉も増え、保育士とやり取りしながら遊ぶことを楽しんでいます。



### 1 歳児クラス(りす組)

くま人形を洗面器に入れて小さいペットボトル容器を石鹸やシャンプーを出すように手で押していました。両手をグーパーさせて人形を洗い、自分の顔や頭も洗ってお風呂の中での様子を再現しています。「きれいになったかな」と保育士が言うと「お風呂はいる」と言って洗面器に足を入れていたので「お風呂を作ってあげるね」と保育士が段ボールの仕切りを丸く囲みお風呂のように作ると中に入りしゃがみながら「いーち、にいい、さん」「まあだだよ」と言いながら浸かっています。「お風呂気持ちいいね。先生も入りたいな」という「いいよ」と迎え入れてくれました。近くで見ていた友達も入りたそうにしていたので「一緒に入って温まろうね」と声を掛けると保育士と子ども3人が一緒に入りお風呂に浸かる雰囲気味わっていました。これからも子どもたちの日常の体験のイメージを組みながら楽しく一緒に遊んでいきたいと思います。



### 2 歳児クラス(うさぎ組)

ままごとコーナーが保育園になって人形を抱っこし「おはようございます」と保育園ごっこが始まりました。布を身体に巻いて人形を抱っこし、ベビーカーに見立てた箱にバックと人形を入れて押しながらやって来ます。段ボール板やお盆を手に「ノートです」と手渡しています。保育士になった子が「元気ですか、お熱はないですか」と聞くと「元気です」「お迎え遅くなります」とお家の人になった子が答えています。「お熱計ってないです」と言われると「ピッしますね」とスプーンを体温計にし、人形の脇の下に入れて体温を測っていました。「じゃあ、行ってくるね」と手を振りながら仕事に行く真似をして部屋の端まで歩いて行っています。「ここ、ママの会社なの」と蓋を開けた箱などをタブレットやパソコンにみたくて打ったり、書いたりして仕事をしていました。自分が生活で体験したことをイメージして再現し友達とやりとりの楽しさを感じ、保育士も一緒に遊びながら関わりが少しずつ広がっています。

